

## 立民・木村たけつかさん(29区総支部長) 蓮舫さんはこんな人 「私利私欲が全くない」「繊細で気遣い の人」「人間的にも大変魅力溢れる人」



6月7日の「蓮舫・市民選対あだち」の総決起集会で、立憲民主党東京29区総支部長の木村たけつかさんが、蓮舫さんを紹介していました。東京革新懇が、木村たけつかさんに蓮舫さんのひととなりの紹介の原稿を依頼し、この度よせられました紹介文を掲載します。

選挙に於いて政策への共感を広げるとともに候補者の人間性に対する共感、期待は選挙活動にとって極めて重要です。各ニュース・報道媒体で拡散して頂けますことをお願いします。

「この度は、都民のための政治をとり戻す七夕決戦に退路を断って挑戦させていただいている蓮舫さんに対して、市民と野党の共闘により皆さまに力強くご支援いただいておりますことに心より感謝申し上げます。

蓮舫さんは、きつい、厳しいとの声を耳にします。国会の論戦の中で、政権に対して行政監視する立場から厳しく質する場面が多いことからそのようにお感じの方も多いのかと思われます。

特に「二位じゃだめなんですか？」という言葉は、ネガティブなイメージを持たれていますが、これは、スーパーコンピューター京の事業に対する蓮舫さんの発言でした。経緯を少し説明しますと、世界一速い処理能力を求めめるための予算の使い道を正し、総合的な処理能力で世界一位となるように転換しました。結果、当初予算額が削減され目的も達成されました。目先の結果にとらわれず、長期的な視点に立って社会の発展の向上に資するよう活用すべきという判断からの発言でした。事業仕分けの中でその他の事業に対しても、当初予算額から大幅にムダ使いを削減し、他の必要とされる分野に税金を配分することができました。蓮舫さんの政治信条は、納められた税金は国民のために還元する。一円たりともムダ使いは

認めない。国民目線で税金の使い道がおかしいと感じた場合には、怒りを持って徹底的に追求することです。そのためには、時間を惜しまず予算書を読み込む努力家でもあります。

一方、蓮舫さんは、政治家では珍しく私利私欲の全くない方です。ご自身の選挙中でも、党の仲間の議員、候補者の選挙応援に全国どこでも駆けつける。必要とされ、求められれば自身のことよりも優先する。

また普段は、気遣いの人で繊細でオチャメな一面もあり、お酒も強く、笑顔の絶えない大変楽しい方でもあります。

このように政治に対して誰よりも真摯に向き合い、また人間的にも大変魅力溢れる蓮舫さんを力強くご支援いただき、都知事へと押し上げていただきますよう宜しくお願い申し上げます。」

